

平成28年春の叙勲・褒章受章者

4月29日に叙勲受章者、4月28日に褒章受章者が発表され、以下の会員が栄に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲受章者の横顔



瑞宝小綬章（通産行政事務功労）

かな お ひろ き
鐘 尾 宏 紀

学歴・職歴

昭和42年3月 広島大学 工学部 応用化学科 卒業
昭和42年4月 特許庁入庁（審査第三部）
昭和46年4月 審査第四部審査官
昭和58年4月 審判部審判官
平成2年12月 審査第二部審査管理官（建築）
平成3年7月 審査第二部審査長（事務機器）
平成4年4月 審判部審判長
平成6年4月 審判部部門長（第1部門）・審判長
平成8年4月 辞職
平成8年4月 むつみ国際特許事務所入所
（現在） かなえ国際特許事務所

弁理士会歴

平成8年 弁理士登録（10835号）

受章に浴して

この度は、平成28年春の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じております。
これも、ひとえに、特許庁在職中にお世話になりました皆様、弁理士として支えていただきました日本弁理士会の皆様のご支援とご高配の賜物と深く感謝申し上げます。また、叙勲に際し、弁理士会をはじめ多くの関係各位からご丁寧なる祝意をいただきましたこと、篤く御礼申し上げます。
昭和42年、右も左もわからないまま特許庁に入庁しましたが、入庁当時から退官するまで、特許庁は滞貨処理促進の連続でした。しかし、この間常に新しい技術に接することができ、また新しい技術分野にも挑戦することができました。さらに審査基準作成やFターム開発などの経験もさせていただきました。
退官後、それまでの経験を生かし、出願人、発明者の立場からの特許支援を行いたいと考え、弁理士の道を選びました。弁理士になり20年が経ち、自分なりに一生懸命やってきたつもりですが、どの程度お役にたてたかいささか心もとない気もしております。
これから先何年弁理士の仕事を続けることができるかわかりませんが、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



黄綬褒章（弁理士業務功労）

た なか みき と
田 中 幹 人

学歴・職歴

昭和 53 年 3 月 日本大学法学部法律学科 卒業
昭和 55 年 3 月 日本大学大学院法学研究科無体財産専攻 中退
平成 18 年～平成 20 年 工業所有権審議会臨時委員
（現在） 田中国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 55 年 弁理士登録（8564 号）
平成 9 年～平成 10 年 中国・四国委員会 副委員長
平成 12 年～平成 13 年 中国・四国部会 副部長
平成 14 年～平成 16 年 中国・四国部会 部長
平成 17 年～平成 19 年 四国支部 幹事
平成 19 年～平成 21 年 四国支部 副支部長
平成 22 年～平成 23 年 四国支部 副支部長
平成 23 年～平成 24 年 四国支部 支部長
平成 24 年～平成 25 年 四国支部 副支部長
平成 25 年～平成 27 年 常議員会 委員

賞

平成 6 年 （社）発明協会奨励功労賞受賞（四国地方）
平成 16 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 21 年 日本弁理士会感謝状
平成 22 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 24 年 日本弁理士会特別功労表彰
平成 27 年 知的財産権制度関係功労者表彰（特許庁長官表彰）
平成 27 年 日本弁理士会特別功労表彰

受章に浴して

3 度目の成人式を迎えた今年、黄綬褒章受章の栄に浴し、これまでご指導・ご交誼戴いた方々に感謝するとともに、この感激を分かち合いたいと思います。

受章に際し、あるブランド認定委員会でご一緒している女性の先輩委員から、次のような祝電を戴きました。

「黄綬褒章ご受章おめでとうございます。とっても嬉しいニュースです。いつもの確なお話しをされ、尊敬しております。さすがです。これからも、ますますのご活躍、お祈りしております。ありがとう。」

この末尾の「ありがとう。」の一言は何にもまして本当に嬉しいものでした。

遠い学生時代に弁理士を目指していた紅顔の美青年も、今や厚顔のシニア世代となりましたが、この「ありがとう。」の言葉を弁理士の原点として胸に刻み続けたいと思います。

故郷高知の生んだ植物学者「牧野富太郎博士」の歌に「草を褥に、木の根を枕に花と恋して 90 年」とありますが、私も地域社会に根ざした「身近な知財パートナー」を目指して、これからも「知財に恋して」一歩ずつ小さな歩みを進めていく所存です。

子供たちも自らの途に進み、第 2 の新婚時代を迎えております。30 年以上もかさず、毎日お弁当を作り続けてくれる愛妻に感謝しつつ、愛犬 2 頭とともに夫婦共通の趣味であるアジリティやオビディエンスのドッグスポーツを楽しみながら、今回の受章の感激を糧として、これからの人生の収穫期を謳歌したいと思います。